



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶



市議団ホームページ <https://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第561号

2022年8月29日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

地域住民の声が届かない旧3小学校の利活用

義務教育学校阿蘇米本学園がスタート、地域には3つの小学校の建物だけが残されました。子ども達の明るい元気な声が聞こえなくなり、地域の人達は喪失感を抱いています。

第1回「旧3小学校の利活用についてのワークショップ」（5回開催予定）が7月24日に開かれました。跡地の利活用には地域住民の声は届いていません。阿蘇米本学園開校を拙速に決めたことと同じ状況になっています。

地域の人が主体的にかかわるまちづくりを

ワークショップに参加できる人は、設立準備委員会の保護者地域連携部会のメンバーを中心に、市内から無作為に抽選で選ばれた人を含め35人程度で構成されています。ワークショップでは千葉大の准教授と学生がファシリテーター（司会運営役）を務め、地域の資源・問題点・アイデアを出していました。

（阿蘇地域のアイデア）

新川や桜の活用、米や野菜の活用、子どもや居住者と一緒にできる農業・調理体験、カフェや子ども食堂、民泊や医療施設、レンタルスペースや集いの広場。

（米本地域のアイデア）

リハビリ施設・高齢者施設・ジム・趣味や会議などができるコワーキングスペース・図書館・児童館・米寿館の復活等

メンバーに選ばれた人の中には「どうして私が選ばれたのか分からない。困る」という声もあります。こうしてワークショップが開始されました。これでは地域の人々が主体的にかかわるまちづくりはできるはずがありません。民主主義の基本は参加することから始まるのに八千代市にはその姿勢が見られません。



失って気づくのでは遅い地域の宝

八千代市は、今後18校の小中学校を統廃合する計画です。学校の建物は公共施設に占める割合が多く、改修と維持に金がかかるとというのが理由です。

跡地利用を考えるなら、学校は小学校として存続させ、空教室を他の施設として利用し新しい形態の複合施設の学校として生まれ変わる方法も考えられます。

そもそも、街づくりの基本中の基本は、地域の主体である住民の意見を尊重して進めるべきです。地域コミュニティの中核施設である学校をなくし、地域の活力を奪ってきた市と教育委員会の責任は重大です。

日本共産党は地域の学校を中心に位置つけたまちづくりをすることを一貫して主張しています。今後の統廃合計画は住民の参加で学校、地域づくり進めていきます。

今後のワークショップの予定は9月11日（日）9月25日（日）10時～12時
八千代農業交流センターにて ぜひ傍聴してください。